

## 「内密出産」を考える

【日 時】2022年12月17日(土) 午後1時30分～午後4時30分  
 【場 所】弁護士会館2階講堂「クレオ」BC(東京都千代田区霞が関1-1-3)  
 当日、Zoomウェビナーによる配信も行います。  
 ※会場参加・Zoomウェビナー参加のいずれも事前登録制  
 【参加費】無料  
 【申込期限】2022年12月9日(金)午後5時  
 【参加対象】どなたでもご参加いただけます。

## 【内容】

近時、さまざまな事情から、妊娠の事実を他者に知られたくない女性が、医療機関だけに身元を明かして出産する「内密出産」が注目を集めています。「内密出産」は、安全な医療機関での匿名での出産を可能にした上で、母親が不明なかたちのまま子どもの出生登録を認めること、母親のプライバシーと子どもの出自を知る権利の調整のための制度を確立することなどを保障しようとするものですが、日本では、そのような「内密出産」の是非をめぐる議論が十分には行われておらず、また、それを可能とする法的根拠も存在しません。この問題の背景には、妊娠や出産をめぐる社会の実情や求められる支援とはなにか、それを支える法律や制度のあり方など多様な課題が存在すると考えられます。

折しも、本年10月、「内密出産」に関して、医療機関や自治体の対応を示したガイドラインが初めて公表されました。そこで、本シンポジウムでは、「内密出産」について、問題の背景を整理するとともに、今後検討すべき法的問題点とその解決に向けた課題について議論したいと考えています。ぜひご参加ください。

## 【プログラム(予定)】

- 第1部 基調講演 ■  
 「内密出産をめぐる現在の状況について」  
 奈良大学文学部 床谷文雄 教授
- 第2部 パネルディスカッション ■  
 「『内密出産』をめぐる問題と課題について」

《パネリスト》  
 奈良大学文学部 床谷文雄 教授

前・熊本市要保護児童対策地域協議会「こうのとりのゆりかご」専門部会委員  
 国宗直子 弁護士

(一社)ベアホープ理事・(一社)全国妊娠SOSネットワーク理事 赤尾さく美氏

家事法制委員会 橘高真佐美弁護士

《コーディネーター》家事法制委員会 林千賀子弁護士

## 【注意事項】

当日、何らかの理由で通信が中断し、復旧困難となった場合には、やむを得ずシンポジウムを中止する可能性があります。

また、PC環境・通信状況等の不具合については日弁連では責任を負わず、またサポート対応等も行いかねますので、予めご了承ください。

## 【申込フォーム】

以下のリンクまたは二次元バーコードからお申し込みください。申込期限内にお申し込みいただいた方にZoomウェビナーの開催情報をお知らせします。

URL  
<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/kajihisympo2022/2022kaji/>

**申込期限:12月9日(金)午後5時**  
**※事前登録制**



なお、誠に勝手ながら、事前申込者数が定員に達し次第、申込みの受付を終了いたしますので、その旨、ご了承ください。



問い合わせ先 日本弁護士連合会法制第一課 電話 03-3580-9843 /ファックス 03-3580-9899

日本弁護士連合会では、家事法制シンポジウムの内容を記録し、また、成果普及に利用するため、シンポジウムの様子の録音・録画を行っております。録音・録画した内容は、日本弁護士連合会の会員向けの書籍のほか、日本弁護士連合会のホームページ、パンフレット、一般向けの書籍等にも使用させていただくことがあります。参加者個人での録音・録画・キャプチャーなどを利用した記録や二次使用は固くお断り申し上げます。